

[令和7年度] 第14回 飯田市新文化会館検討委員会 会議録

会議名称	第14回 飯田市新文化会館整備検討委員会
開催日時	令和8年3月19日(木) 午後7時00分～8時31分
開催場所	飯田文化会館展示室
出席委員 (敬称略・順不同)	上沼俊彦、川崎好昭、塩澤哲夫、原田雅弘、黒河内智子、松岡一成、飯島剛 久米義輝、小木曾俊夫、前澤正徳、森本典子、小澤櫻作、佐々木宏幸
欠席委員 (敬称略・順不同)	片桐啓、桑原利彦、田中悦雄、遠山あづみ、山元浩
オブザーバー (敬称略)	井坪隆
出席事務局職員	飯田市 : 市長 佐藤健 教育委員会 : 教育次長 秦野高彦 文化会館 : 館長兼新文化会館整備室長 筒井文彦 新文化会館整備室 : 技幹今村光弘 新文化会館整備係 : 係長植松一成、係員岩下裕輝 事業係 : 館長補佐兼係長福澤信幸 人形劇のまちづくり係 : 係長永田麻美子
会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 文化会館の改修について</p> <p>4 感想・今後に望むこと</p> <p>5 その他 本日の感想、ご意見等はアンケート用紙に記入し、後日提出</p> <p>6 閉会</p>

※会議録（発言）には委員の氏名を掲載いたしません。

# 令和7年度 第14回 飯田市新文化会館整備検討委員会 会議録

令和8年3月19日（木） 午後7時00分 開会

---

## 1 開 会

○委員長 こんばんは。

定刻となりましたので、ただいまから第14回新文化会館整備検討委員会を開催いたします。本日は、ご多用なところをご出席いただき、ありがとうございます。

学識委員の皆さんは、オンラインでの出席となりますが、よろしくお願いします。

本日は、片桐委員、桑原委員、田中委員、そして山元学識委員から欠席の連絡をいただいております。また、オブザーバーは、遅れての参加になりますので、ご報告させていただきます。

---

## 2 あいさつ

○委員長 それでは、佐藤市長からご挨拶をいただきます。

○市長佐藤 皆さん、こんばんは。

3月のお忙しい年度末の中、お集まりをいただきましてありがとうございます。

また、オンラインでご参加いただいております学識委員の皆さまも、お忙しい中、ありがとうございます。

委員の皆さまは、令和4年から3年半以上、新文化会館の検討に携わっていただきました。本心に改めて感謝を申し上げたいと思います。

令和6年の3月には、基本構想をまとめていただきました。その後、物価高騰や飯田文化会館を改修が必要な状況となり、その中でどう「飯田ひろば」を実現するか、検討を重ねてまいりました。

悩み抜いた結果、まずは今の文化会館を改修し、長寿命化して、市民の皆さんの文化活動を止めないことを大前提・最優先に考え、新しい文化会館は、小ホールから順番に段階的・分散的に整備していく方針を決めました。

まち全体で「飯田ひろば」を実現することは、非常に挑戦的であると思っています。前回

の会議の際にご指摘いただいたように、「既にいろいろな文化施設がまちなかにあるが、まち全体が『飯田ひろば』になっているか」というと全くそうではない。分散すればまち全体に文化が広がるものではないので、よっぽど頑張らないといけない」という趣旨のご発言をいただきましたが、本当にその通りです。まち全体で「飯田ひろば」を本当に実現するためには、これまでとは全く違う考え方や違う取り組みが必要だと思っています。

アウフヘーベンとも言われる、考えを混ぜ合わせてより良くしていく。そのような新しいものを生み出す力が、これから先、求められると思っています。本日で新文化会館整備検討委員会は一区切りをつけることとなりますが、「飯田ひろば」の構想に関わっていただいた皆さんには、またお力を貸していただきたいともっています。

本日は、最初に取り組まなければいけない文化会館の改修を、具体的にご説明を申し上げて、ご意見をいただければと思っています。どうぞよろしく願いをいたします。

○委員長 ありがとうございます。

ここで事務局から連絡事項がありますので、お願いします。

○次長秦野 飯田市教育委員会事務局の教育次長の秦野です。よろしく願いいたします。

4月1日付で、飯田市教育委員会の組織機構の変更を行います。文化会館は、飯田ひろば実現のための基本方針の決定に伴いまして、新文化会館整備室を文化会館に統合し、施設整備に係る業務の係を新設し、業務移管します。

また、新たに社会教育担当参事が着任しまして、文化会館等の業務を担当させていただきますので、よろしく願いいたします。

連絡事項は以上です。

○委員長 ありがとうございます。

---

### 3 文化会館の改修について

○委員長 それでは、文化会館の改修について、事務局から説明をお願いします。

○室長筒井 新文化会館整備室の筒井です。まず、資料の確認をお願いします。本日の次第以外に、資料1 主な所要室等の改修工事概要（予定）、資料2 ゾーニング図、資料3 改修工事に伴う令和8年度・9年度・10年度の使用制限のスケジュール、アンケート用紙、さらには「『飯田ひろば』実現のための基本方針」、前回の時点では案でしたが、この案が取れた方針です。さらに、ニュースレター第13号、前回の整備検討委員会のご意見、整備方針、今後の整備手順をまとめたものです。裏面には、学識委員のお二人からのご感想、市長からのコメントが載っております。資料は以上です。

まず、前回の整備検討委員会以降の経過を説明します。

前回の整備検討委員会でいただいた意見を基に修正し、12月19日の飯田市議会の全員協議会で基本方針を報告いたしました。

修正点は2点あります。基本方針7ページの下から3つ目の丸「分散整備する施設の管理運営に関わる人材について、確保と育成が必要となる」と、その下の「分散整備する施設だけでなく、公民館等、既存の文化施設を含めて、『飯田ひろば』を実現するための事業展開を検討する必要がある」の2点です。この人材育成と「飯田ひろば」を各地区公民館も含めて実現する必要があるというご意見を複数の方からいただいたので盛り込みました。

議会でこの案を報告させていただき、さらには20地区の公民館の館長の皆さまにも、報告させていただきました。そして、市役所内の部長会や先日行われた市議会の社会文教委員会協議会でも報告し、成案したところであります。基本方針が決定になった経過を報告させていただきました

それでは、改修について説明させていただきます。資料1と資料2を使いまして、どのような改修を予定しているかということをご説明させていただきたいと思います。なお、来年度予算は、議会で審議中なので議決前であることをご承知おきください。

まず、トイレを使いやすくしてほしいというご意見をとても多くいただいています。課題意識はありましたが、なかなか改修ができませんでした。そこで、優先度が高い部分としてトイレを改修したいと考えています。特に、和式トイレを洋式トイレに改修します。続いて、資料2の2枚目、ホールに入場いただくホワイエ部分の図面です。こちらには、今まで多目的トイレしかなかったのですが、ホワイエと会館棟の中間地点のスペースに新たに女子トイレを新設したいと考えています。特に、ご高齢の方や障がいをお持ちの方から「ホールのトイレは階段を降りないといけない」というご意見を多くいただいております、ホールのホワイエと同じ高さで段差のないところにトイレを増設していきたいと考えています。

さらに、ホワイエのスペースを活用し、授乳室を新たに設置したいと考えています。

資料2の3枚目、ホールでいうと2階席部分にも現在トイレがありますが、和式トイレを洋式へ改修したいと考えています。

ホール機能は、より快適な鑑賞を目指して、床の張り替え、幹事室の改修も考えています。後ほど、ホールに関しての改修スケジュールをお伝えしますが、舞台やホールについては、細かな設計には至っておりませんので、今後、客席をどうするかは検討していきます。予算もあります、「客席の幅が狭いので、もう少し広く」とご意見をいただいておりますので、考慮したうえで、検討していきたいと思っております。

続きまして、資料2の1枚目をご覧ください。左下の青色で塗ってある楽屋エリアについてです。楽屋エリアを増やすことは難しいですが、一番広い楽屋を半分に仕切れるようパーティションを作り、必要に応じて2部屋に分けて使えるよう改修したいと考えています。

さらに、現在の楽屋エリアには給湯設備がなく、事業のたびに給湯室からお湯を運ぶ必要があったのですが、楽屋エリアに給湯室新設を考えています。さらに、現在は男性・女性浴場がありますが、あまり使用されず、むしろ「シャワーを使いたい」という希望が多いため、シャワー室に改修したいと考えています。楽屋エリアは、創造活動にご利用いただく皆さんに、より快適に使っていただけるよう改修していきたいと考えています。傷んでいる部分、トイレ等も含めて改修しますが、快適に使いやすくなる楽屋を目指していきます。

続いて、楽屋エリアの右側の展示室や事務室のエリアです。

このエリアは、整備検討委員会の中でも様々なご意見をいただく中で、「交流に使えるスペースが文化会館に必要ではないか」という意見をいただいています。「ホールで事業がなくても、ふらっと立ち寄れるようなスペース。または、練習をした後に、少しお茶話ができるようなスペース」といったご意見をもとに、「ハレの場」の帰りに寄っていただく、または日常的な利用の後に寄っていただくという意味で、「ハレカケ」というキーワードを入れておりますが、文化会館の事業があってもなくても、交流できるようなスペースを、現在の事務室に新設しようと検討を重ねています。

事務所は、会館棟の大きな階段を事務スペースに改修できないか検討しています。今、ピアノが置いてあるあたりが受付として、職員は階段部分を工夫して改修することを検討しています。

現在の展示室部分には「スタジオ」というキーワードを入れてあります。当初、文化会館ができる頃は美術博物館もなく、展示機能が必要ということで絵を飾ったりすることもでき展示室として用意されたと思いますが、現時点では、歌や音楽、または演劇の練習、スタジオとしての使用が非常に多く、検討の中で「防音も踏まえた改修を」というご意見もいただいているので、この展示室は、スタジオ的な機能を持たせ、リハーサルや各種練習、または小さな発表会ができる部屋に改修したいと考えています。ただ、部屋の大きさを変えることは難しいので、今のスペースでできる改修を計画します。

続きまして、資料2の2枚目の下側の部分。資料1だと、2階会議室、2階講習室、2階和室です。現在、「講習室」という部屋ですが、現在ピアノも置いてあり、歌の練習、または演劇の練習、非常に練習での使用が多い部屋です。ただし、元々防音機能がない部屋なので、防音仕様にするすることで、歌やピアノ、音楽の練習にふさわしい部屋に、改修したいと考

えています。

さらに、展示室の上階の会議室は会議だけでなく、練習または各種催事で使用されるように、キーワードとしては、「マルチルーム」と書いてありますが、多機能な催し物に活用していきたいと考えています

さらに、2階の「和室」ですが、かつて文化会館で結婚式が行えた名残で、新郎新婦が着替えるように和室があります。残念ながら、現在は有効的に活用できていないのですが、この部屋はキーワードとして「ケコミ」と書いてありますが、フローリングに張り直し、靴を脱いでの使用を想定し、人形劇や邦楽などの練習や発表に使用できるよう改修していきたいと考えています。

大きな改修内容は以上ですが、それ以外にも、会館棟の共用部分をできるだけ使いやすいように改修し、壊れているところは修繕し、ホール棟だけでなく会館棟にも授乳室を新設し、いろいろな世代の皆さんに使っていただける飯田文化会館を目指して改修していきたいと考えています。

さらに、今の駐車場が400台の中で運営していますが、1,200人が入る催しだと中部公衆医学研究所の駐車場をお借りすることもあります。駐車場も引き続き検討し、増やせるようであれば増やしていきたい。また、楽屋口側も駐車場に大型車が止めにくい状況があるので、そちらも改修したいと考えています。

さらに、図面には載っていませんが、ホールの開場前に、ホールの入り口外側の市民デッキでお待ちいただくことがあります。夏場は非常に暑いことがありますので、可能であれば、オーニングという屋根付きのものを何らかの形でできないかという検討もしています。

さらに、会館棟もホール棟もバリアフリーへの対応を目指し、外の大階段も半分くらいスロープにし、下の駐車場から車椅子でも行けるような動線が確保できないかも、検討を進めています。以上、資料1と資料2について説明しましたが、全て決定したものではありません。

続いて、資料3について説明します。

令和8年度は優先度が高いものから行いたいので、電気系統や給排水も行いたいと考えています。令和9年度・令和10年度については、予算を含めて検討していくので、あくまでも今現在として、このようなスケジュールを考えています。

これも、文化活動を止めずに改修するという大きな目標があり、どうすれば改修できるかを、苦勞しながら計画しているところです。文化会館は半年前から予約可能です。文化会館の大きな事業として、オーケストラと友に音楽祭が5月にあり、夏には人形劇フェスタがあ

ります。11月には伊那谷文化芸術祭という大きな事業が3つあるので、その期間は、なるべく会館棟も含めて使えるように考慮したスケジュールでお示しています。

先ほど、ホールの客席についてお話ししましたが、舞台の装置も含めて具体的な計画になっていないので、令和10年度の後半にホールを改修する計画です。

予算の関係もあり今時点でどこまでできるかはお示しができませんが、本日お伝えしたかったのは、令和8年度には優先度の高いものから改修していきたい。特に、ご意見が多かったトイレは早めに解消していきたいと検討を進めています。

この後、ご感想やご意見をいただきたいと思いますが、先ほどお伝えした資料1に関して所要室の改修概要と使用例が載っています。このような使用例を目指したキーワードとして部屋の名称案もありますので、これらも含めてご意見をいただければと思います。

説明、長くなりましたけれど、以上です。

○委員長 ありがとうございます。

ただいま説明がありましたが、ご質問等ありましたら、ご発言をお願いします。

発言される場合には、挙手していただき、お名前をおっしゃってから、着座のままでご発言いただくようお願いいたします。

なお、この後に、感想や今後に望むこととお伺いする時間もありますので、ここでは全体で共有すべき確認事項といったご発言をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○室長筒井 1点、事務局より連絡させていただきます。

改修のことばかり説明して申し訳ございません。

ホールの空調について、4月から6月まで故障して使用できない時期がありました。今は、旧飯田市公民館で使っていた空調を移設し、応急的に使用していますが、この3か年の中で空調も更新をしていきたいと思っています。

○委員長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。ご質問、よろしいですか。

そんなに変更して大丈夫かと思うところもあったりするんですが、よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 それでは、次へ進めたいと思います。

---

#### 4 感想・今後に望むこと

○委員長 4番の「感想・今後に望むこと」に進みます。

文化会館の改修、また整備検討委員会の感想・今後に望むことについて、委員の皆様からご発言をいただきます。

まず初めに、学識委員の皆さん、その後、委員の皆さん、そして、オブザーバーの順番で伺います。

それでは、初めに学識委員、よろしくお願ひいたします。

○学識委員 皆さん、こんばんは。

本日は、オンラインで失礼いたします。大変明快なご説明、ありがとうございました。

具体的な改修のお話をお伺いしていましたが、市長のあいさつの中で、「分散したからといって、まち全体が広場になるわけではない」というお話がありました。それから、「もう3年半、この新文化会館の構想の検討が行われている」というお話もありました。私も、全くそのとおりだと思いました。

そういった中で、具体的な計画が始まると、つい1つ1つの計画を単独で考えてしまい、今ご説明された話も、現文化会館の改修計画と捉えてしまうと感じました。

この検討が、「飯田ひろば」の実現で捉えてみると、単独で検討されるべきものではなくて、常に市全体の計画の中で位置づけが考えられ、それを、どのように市の都市構造の転換等とも絡めながら遂行していくのが、大事であると考えました。

そう考えると、現文化会館の改修も、基本構想の中で議論され、決定された「飯田ひろば」という理念を、段階的に実現していく、具現化していくためのステップの1つになっているかどうかという視点が大事だと思ってお伺いしていました。

不足している機能の補填は当然ですが、「飯田ひろば」という基本構想の中で議論された理念が、今回の改修においても、どう実現できるのかという視点で、捉え直してやる必要と思っています。

そういった中で、例えば「ハレカケ」というスペースが、現在の事務所のところにでき、日常的な交流の場になることも、その一つの表れだと捉えました。

そういった考え方をすると、これは改修計画ということで、基本的には空間のお話が中心になると思いますが、空間だけでなく運用も含めて、どんなプログラム、どんな活動を文化会館で展開していくのかも並行して考えるべきであると思ったのがまず1点目。

もう1点は、今日の説明は現建物の改修についてだったので、基本的には屋内の空間に焦点を当てたものです。例えば、人形劇場の前の広場が、市民の方の文化活動に使われるような工夫を、今回の改修と並行して進めていくような、今後の分散型でありながら、「飯田ひろば」というものが、その分散した施設のネットワークとして、かつ屋内と屋外が連続した

空間、活動の場として展開することに対して、何らかの示唆を与えるような、そういった側面も含めた上で、ご説明いただいたような、非常に丁寧で緻密な計画が行われていくことにより、この現文化会館の改修が、「飯田ひろば」実現のための第一歩として、市民の方にも認識されるようになると思いながら、お伺いしていました。

私からは、感想としては以上になります。

○委員長 ありがとうございます。

それでは続いて、お願いいたします。

○学識委員 今回もどうぞよろしくお願ひします。

私も、今までのお話をお聞きして同じようなことを感じていました。今回、新しいホールが先送りになったことは大変残念ですが、文化が止まらないことがとても大切であると思っています。改修で文化が止まらず、ずっと続いていくことは、うれしく思っていますが、ホールが近年の物価高などで厳しい状態とすると、その視点から言うと、新しいホールができることは、新たなチャレンジを始めるチャンスであると思います。

改修工事に目が行き過ぎて、新たなチャレンジができなくなるのは、とても残念なことなので、この「飯田ひろば」を実現させるために、新たな文化というのも始まっていく必要があるのではないかと感じています。

その新たなチャレンジが、これまで皆様が話し合っていたいただいたことの実現になっていくのですが、これまで文化に参加することを躊躇していたとか、関わりたくても関わる接点が無かった方が、新たなチャレンジがきっかけで関わるというケースは非常に多いと思います。これが改修工事に目が行き過ぎて、チャレンジというか接点をつくることを諦めてしまうのは、非常に残念なので、新たなチャレンジ、まちなかを「飯田ひろば」にしていくことも止めずに進めていってほしいと思います。

もう1点、今のスケジュールと改修について、耐震工事でやらなくてはいけないことも出てくると思います。そのときに、結構大規模修繕の話になると思います。私も今まで、いくつかのホールをお手伝いしてきて、大規模修繕は非常に大変で、長期間ホールが休館してしまうことで、利用者さんが活動を止めてしまうことが非常に多いです。2年、3年の期間であっても、その辺りは気をつけて進めていく必要があると思っています。

この辺りは事業展開や他施設の利活用も含めて、丁寧に計画していく必要があると思います。

私からは以上です。

○委員長 ありがとうございます。

それでは続いて、委員の皆様からご意見、感想を伺いたいと思います。

こちらから反時計周りにしていただければと思います。よろしくお願いします。

○委員 前回までの間に専門委員の皆さんにご検討をいただき、いろいろ流れができてきたかと思っています。

そんな中で、改修の内容を見させていただきましたが、私としては特段、問題はないと思います。ただ、将来的にどこまで、どう使っていくかがまだはっきりしていない部分があります。ひとまず改修し、現文化会館を使うのであれば、市民の皆さんからお聞きしておりますが、トイレ等の改修は、特に希望が出ていると思いますので、早めに、計画どおりにやっていただければと思います。

あと、先生方のお話でもありましたが、将来的な展望を話しながら、基本理念や構想をつくってきたところですが、ここまでつくってきたものを、前へ進めていくことは非常に大事ではないかと思っています。

先ほどお話がありました予算の関係等あるかもしれませんが、ぜひ足を止めずに進めていただきたいという希望です。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

続けてお願いします。

○委員 私としては、人形劇場の位置づけがないことが気がかりな部分です。

また、人形劇場前のスペースと市民広場のオープンスペースの活用方法、また、「ハレカケ」と言われているエリアの活用方法、それが少し気がかりな部分です。

あと、事務室機能が階段スペースということで、それも使いづらくなるのではと思っています。管理運営で必要な部分かと思っていますので、その辺が気になっています。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

お願いします。

○委員 お世話になります。

丁寧な説明をありがとうございました。

もしかしたら増改築になるのかなと、期待していたのですが、増築はスペース的に無理なのですね。

その中で工夫されてつくったことは、ありがたいことだと思います。この「ハレカケ」がすごく大事で、例えば、ムトスぷらざのフリースペースや市役所の市民スペースとかを考え

てだと思っておりますが、入り口にあるのはいいと思いますが、建物に入ると敷居が高いと思うので、この駐車場ほうからストレートに入れる自由なスペースであれば、入りやすいかなと、使う立場で思いました。

イベントが終わって、「ハレカケ」で話すのが狙いだと思います。外から来た人たちが待ち合いにすることもできると思いますが、周りに交通手段がない場所なので、外の人が入る場所になるのは難しいと思いました。せっかくつくるなら、きちんとPRしないといけない。あと事務所については、職員の方たちがこのスペースで仕事をするのは切ない感じがします。仕事の環境はすごく大事だと思うので細長い狭いスペースで職員の中の交流がうまくできるかなと思いますが、場所がほかにはないのが、残念だなと思いました。

あとホールは、実際に芸術・文化の分野に携わらせていただきますが「ホール機能をやっぱり何とかしていただきたい」という声がトイレよりも多いです。そこがまた計画の中で、きちんとされていくといいなと強く願っています。

あと、私はニュースレターを手渡したり、話したりしています。その中で、ニュースレターを開いた右上に「整備手順」とありますが、これの中が「最大20年」と書いてあります。「そんなにかかるんだ」と言われたり、小ホール・中ホール・大ホールとありますが、リニア駅の予定地域でプラットフォーム構想があり、その中に、文化・芸術のスペースのことが描いてあったので、「そこもここに入っているんでしょう」と言われことがありました。

なので、そういう分散型もあるのかと思ったので、私の中で返答はできませんでした。「皆さんが使いやすい場所ができるといいね」くらいしか言えなかったが、その辺のことが今どういう状況なのか、まだ構想だけだとは思っておりますが、教えていただけたらと思います。

○委員長 続いて、お願いします。

○委員 この文化会館を改修して、ここで文化活動を継続するというわけですが、20年後にはリニア駅周辺に大ホールの構想も考えていくかと思っております。

したがって、これからの20年は、この文化会館の活動の在りは、将来の大ホールの在り方について大きな影響を及ぼすことになるかと思う。

そんな中で、この視点を大切にいただければと思うが、まだこの文化会館は、一般の市民にとって、敷居が高いと私は感じています。もう少し敷居を低く、多くの市民の方々が気軽に使える施設になればありがたいと思います。そういう点では、この「ハレカケ」には、期待しています。

さらに、先日、ピアノを家族に貸し出す企画が文化会館でありました。あの企画は我が家ではとても評判がよく、すぐ応募したのですが、定員いっぱいになっていて応募できなかった

た。あのような企画を、断続的に出していただければ面白いと思っています。

それから、基本的にここは、舞台芸術を中心に文化活動を行うための施設です。こうした場所は非常に限られているので、現在活動されている方々の後を継ぐ、若い方々を育てる仕組みを、施設を活用しながら、ソフトの仕組みをつくっていただけたらいいと思います。

さらには、今、中学のクラブの地域移行が盛んに言われていますが、そのクラブ活動の受け皿のような役割も期待したいと思っています。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

お願いします。

○委員 「ハレカケ」スペースは、勉強の場として市役所や公民館などを使って勉強している生徒さん、学生さんに期待できるかなと思います。

幼児教育でいきますと、より詰めていくところだと思いますが、子育て世代にとっては、トイレなどは、子どもさんも一緒に入れないと難しいところがあるかなと思います。トイレの数がたくさんあるのはとても大切だと思いますが、これから文化会館が親子で楽しめるコンサートや何かイベント、子育て世代の人たちがみんなで集まれる場所で考えると、トイレをもう少し考えていただけると、お母さんやお父さんが、小さい子どもさんたちを連れてトイレに入れるのもいいのかなと思いました。また、授乳スペースの中に、おむつ替えのスペースも必要かと思います。

スタジオとかマルチルームを考えていただいているのですが、そういうところで子育て世代の方たちがより集まれる場所、イベントが盛んに行われ、若い人たちが集まれるところができるといいなと期待しています。

ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。

お願いします。

○委員 いろいろお伺いする中で、非常に苦勞されて考えられているとは分かりました。トイレの改修を第一にして、数もかなり増やすのは非常にいいことだと思います。

特に、文化会館で鑑賞する方たちは、高齢の方がかなり多く、「1階のトイレへ行くのに、客席から上がって階段を降りて用を足し、また上がるのが非常に辛い」という話をかなり聞いています。

その中で、ホワイエと高さが同じ場所にトイレができるとは非常にありがたいことです。ただ、1階のトイレを使われる方が多いのですが、構造的に難しいのかもしれませんが、希

望としては、客席の真ん中あたりに左右に行ける通路があり、「そこから平らなところでトイレにいけないのか」という希望もありました。苦労しないでトイレに行ければありがたいです。

それと、改修をいろいろ考えていただき、観客、鑑賞する方たちと会議を行う方たちの環境はよくなるとはいえません。ただ、我々が関わっている伊那谷文化芸術祭は、出演する方が非常に多く、舞台での発表を楽しみにされている方も多いため、客席を広くすることは今後も検討してもらいたいです。舞台上の床も傷んでいます。数年前にピアノを運び出すときに板が割れ、傾いたことがありました。

それと、専門的なことは分かりませんが、音響とか照明設備の充実も検討していただきたいです。

他の委員からも話がありましたが、人形劇場と大ホールの前の空間を常に高校生や一般市民が、あそこを使って、何かできるといいのではないかと感じました。

とにかく、20年使うので、しっかり考えていただき、より使いやすい設備を文化会館にプラスしてほしいと感じています。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

続いて、お願いします。

○委員 2つの視点でお話させていただければと思います。

1つ目、この飯田下伊那での総会の会場として我々も飯田文化会館を使わせていただいています。それから、もっと大きな集団で使わせていただくこともあります。

そういったことで考えると大きな団体が入ったときに、このスタジオや楽屋等を研修の場として使わせていただくことありましたので、それぞれの部屋の目的があっても、そういう形で使わせていただけるような、ぜひ継続していただけるとありがたいと感じています。

2つ目は、子どもたちの目線から見たところですが、来年度から飯田市でも、みらい創造科が始まっていきます。子どもたちが総合的な学習等の時間を使い、子どもたち自身の問いを大事にして、学んでいく時間ですが、その最後の集大成として表現することも重要であると、どこの学校でも考えていると思います。

そういう表現する1つとして、発表の場が出てくると思います。そうしたときに、こういう施設は、子どもたちがここで発表できるというのは、すごく大きな魅力になると思います。将来的に考えると、小ホール・中ホール・大ホールができれば、自分たちの発表の意図や内容によって会場が自由に選べる。子どもたちにとって、この大きなところでの発表は、すご

く大きな魅力になり活用ができます。

それには使いやすさが必要かと思う。敷居が高かったり、手続きが煩雑だったりと踏み出しづらいところがあります。使用する上での使いやすさを考えてながら進めていただくと、子どもたちの表現の場ということで、非常に大きな意味になるかなと思います。

あと、トイレは子どもたちにとっても和式トイレの経験がなく、和式トイレがある学校によっては、使い方を教えなければいけない。そうすると、洋式トイレは、子どもたちにとってもありがたいかと思います。

以上、2点です、ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

○委員長 ありがとうございました。

お願いします。

○委員 私もトイレは早くよくしたほうがいいと思っていたのですが、最近、国交省がトイレの設置基準の男女比を見直すという話を聞いたので、そこら辺も考慮しながら数を見ていただきたいと思います。

名古屋のホールが利用者の客層によって女性トイレや男性トイレの数が変わる工夫をしているのも聞いたので、それも参考にしながら検討していただきたいのは、要望として1点申し上げたいと思います。

それから、先ほども出たのですが、人形劇場は改修の対象ではないので説明がなかったと思いますが、「飯田ひろば」を考えていくときに、人形劇場をどう位置づけてソフトを展開していくかというときに、改修で使えなくなっている期間を、ほかの施設をうまく使いながら、「飯田ひろば」を展開するために使う施設では、人形劇場でもあり、ほかのホールでもあるということも視野に入れながら、ソフト事業を展開していく必要があると強く感じました。

竹田練場という施設が座光寺にあります。すごく人形劇の芝居をつくるにはいい場所ですが、宝の持ち腐れで全然使われていない。例えば、そこうまく連携し活用することも今後必要になってくると感じています。

そういう場所で、飯田の人だけでなく人形劇をしている人たちが、芝居のいろはを学んで、飯田の中で上演して評価を得るなどといった創造をしていくことも、今後必要になってくる活動だろうと感じています。

そう考えると、整備検討委員会でも皆さんがおっしゃっていたんですが、市民の皆さんと行政が共に文化をつくっていくことが、この委員会でも最初に検討した「飯田らしさ」の一つの大きな部分だと思うので、ぜひ新しい文化会館、「飯田ひろば」に向けても行政の直営

を基本に考えていくのが、大事な点だと思います。

あと、場所については飯田の旧市街、元々「飯田らしさ」の文化の点で、飯田町であった場が蓄積してきた風土がすごく大事だと思う。そこら辺を掘り起こしながら、市長さんもおっしゃった、アウフヘーベンしていくときに、蓄積してきたものを、どう評価して、つなげていくかも大事だと思います。これから新しい知恵を入れながら、どんどん「飯田ひろば」の充実に向けて、この整備をきっかけに、生かしながら、やっていっていただけるといいと思いました。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、オブザーバーからお願いします。

○オブザーバー オブザーバーという立場で参加させていただきましたが、まずこの検討委員会の感想ですが、客観的に申し上げて、社会的な状況で我々の夢が実現しにくくなったことが、非常に残念だと思います。誰が悪いのではなく、社会的な状況、特に財政の面によって、熱い議論をしてきたことが、どうなったのかという面からすると残念だったと思いますが、歴史を振り返ったときに、「ああ、あの地域は状況が厳しかったんだな」と思われても仕方がないなと思います。

それから、もう1つ思うことは、前も申し上げたのですが「飯田ひろば」の概念とは、いろんな考え方があるのだなと思いました。委員会の皆さんの考え方、それからそうでない方々の考え方、いろんな考え方があると思いますが、この辺は、もう一度議論をしていくべきだなと思っています。

最後に、改修の話が出ましたが、先ほども話があったように、何のための改修なのかが大事だと思います。応急処置による改修なのか、それとも飯田の拠点をつくるための改修なのか。その辺がボケないようにしないといけないなと思っています。非常に大事な時代、時期に入ってきています。

検討委員会の結論を得て改修に移っていく。つまり飯田文化会館の在り方が、新しい改修というフェーズに入った。そうすると、もっと市民と語り合わない、この改修はうまくいかないのではないかと思います。飯田文化会館が培ってきたものとは、行政と活動する市民との間の、えも言われぬ関係でずっと続いてきました。この関係をきちんと保持しながら、守りながら、大切にしながら、改修を進めないはずだなと考えています。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、続いてどうぞ。

○委員 私も、前回の会議でもお話をさせていただいたので、施設についてはいろいろ変更があっても仕方ないことだと思います。

新しい施設ができる前に行く改修なので、今よりよくなるだろうと期待が大きいです。

それとは別の観点ですが、最近、飯田文化会館で飯田下伊那の芸術文化を実施している団体の後継者問題や課題について話し合うワークショップがあり、私もそこに参加させていただきました。そこで思ったのは、本当に地元の芸術文化は人が支えています、これをどう継承していくかのほうがすごく重要だと思いました。ハコモノもすごく大切です、飯田を象徴してほしいとは思いますが、そこで行われている事業が、すごく重要だと思いました。

私に関わっているホームタウンコンサート、もう 30 年近くやっていますが、いつも一流の演奏家が来て言ってくれるのは、「とても緊張しますね。テストを受けているみたいです」と言うんです。それは、聴衆の聴く姿勢を、演奏家なりに褒めていただいたということです。

それと同じように、3年前に実施したジュリアード音楽院の先生たちによるジュリアードカルテットのメンバーから逆オファーがあり、「ぜひ飯田でもう一度やりたい」と言われました。

それは我々がよく理解してない飯田の文化の1つのよさで、すごく誇りに思ったのですが、どう継続していくかのほうが大事かもしれない。

やっぱりハコモノも大事ですが、人がどうつないでいくのか、そのためには、つなげていこうとするよりも、みんなが楽しんでいくような観点も必要かと思います。

ですので、改修する文化会館も新しい文化会館も、楽しんで使うような市民や下伊那郡の町村も大事にさせていただいて、その人たちが使うことにも配慮していただいていると非常に感じています。それをいかに活用していくかは人にかかっています。少子高齢化社会でこれをどうつないでいくかが、すごく課題と思いました。

○委員長 ありがとうございます

私も一言だけ。「飯田ひろば」という言葉が出てきたときに、この整備検討委員会の空気がガラッと変わった。あのときに私たちが感じた「飯田ひろば」とは、どういうイメージだったのか。学識委員が書いてくれたイラストがありましたが、それに向かっているのかという目で、見ていきたいと思っています。

それでは、学識委員の先生方、ぜひ感想を受けてでも結構ですし、全体を通してコメントをいただけたらと思います。

それじゃあ、よろしくお願いします。

○学識委員 皆様のお話をお聞きして、やっぱり改めて飯田の皆さんはすごいなと今回も感じました。飯田のまちには、これまで続いてきた文化があって、皆さまが大切に育て、つなげてこられて、本当に魅力的な文化になっていると感じました。

それと、何のための改修か、「飯田ひろば」という基本理念を達成するための視点から、改めてお話させていただきます。

これまでいくつかのホールの立上げ、開館に関わっていて、新しいホールの活動を始めるとき、近年は基本理念やミッション、ビジョンを掲げて実施します。

それまで、そのまちで頑張って文化を育ててきた方々が、より活躍していくような、より文化が華やかになるような、協力も必要ですし、その施設をどう使うかの提案も、施設の管理をしていかななくてはならないと思っています。

基本理念の達成に向けては、「飯田ひろば」というものはどういうことなのか。この「集う」、「見る」、「創る」、「伝える」、「育む」とは、どういうことなのかを、事業や運営の中で、一人でも多くの方々に感じて伝えていくことが必要だと思います。

そこに、このミッションとメッセージを添えて事業の中で提案していく。そのことで、参加する人、参画してくる方々が一人でも多く増えていく。そして、様々な方が参加していただけるように、事業を組み立てていくなどを、開館のときには頑張っております。

今回の改修が、そういった新たなステージに入るという形で捉えていただき、この「飯田ひろば」の基本理念・基本方針が、多くの方に伝わって、より華やかな飯田の文化が育っていくことを、私も期待しています。

本当に長いことありがとうございました。毎回、この委員会では新たな発見、いい刺激を受け、文化って楽しいなというのと文化を育ててこられた方々の言葉は、こんなに貴重なんだなということを、改めて感じることができました。

ありがとうございました。

「飯田ひろば」が、今後、花咲くことを祈っています。

どうもありがとうございました。

私から以上です。

○委員長 ありがとうございました。

それでは、よろしくお願ひします。

○学識委員 私も、全く同じ感想を持ちました。最初に基本構想の段階に関わらせていただいたときから、実に前向きで建設的な議論が行われる場だなと感じながら、参加させていただきました。今日もまた、その思いを新たにしたところです。

皆さんのいろいろなご意見を伺いまして、今もありましたが、「飯田ひろば」を、単なる都合のいいキーワードで終わらせないというのが非常に重要だと思います。何かを計画し、とりあえず「飯田ひろば」を当てはめたら説明できちゃうのが、非常に怖いと思います。

そのためには、「飯田ひろば」というものが、具体的にどういう情景、すなわち市民の文化活動という視点から、どういう情景が生まれる場を、「飯田ひろば」という言葉に込めているのかを、常に確認しながら、前に進んでいくのが、重要だろうと思いました。

そういった意味では、現飯田文化会館の改修も、「飯田ひろば」というものが生み出す文化的な活動を、この改修を通して可視化する、最初のチャンスと捉えるべきだと思っています。

なので、現在の文化会館が使いやすくなったで終わらせずに、この検討委員会がイメージしている「飯田ひろば」という文化的な活動の情景は、こういうものであるということを、その一端でもいいので生み出すような改修にしていくことが、この第一歩に求められていると思います。

何らかのことが可視化され、市民の皆様にも認識をされることで、今後、段階的に行われていく一つ一つの改修でも、向かうべき方向性のイメージが生まれてくるのではと思います。

最初にもコメントさせていただきましたが、単なる改修で終わらせることなく、「飯田ひろば」という概念の具現化の第一歩と捉えて、思い切ったことに踏み込んでいくという考え方も重要ではないかと感じました。

本当に長い間携わらせていただき、大変多くを学ばせていただきました。本当にどうもありがとうございました。

私からは以上です。

○委員長 ありがとうございました。

皆さんから、そして学識委員の方から感想、それから今後に望むことについて伺いました。ここで、佐藤市長から一言をいただきたいと思います。

○市長佐藤 改めまして、本当にここまで新しい文化会館や「飯田ひろば」について、長く、回数を重ねてご議論いただいたことに感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

学識の皆さんも、本当にお忙しい中、相談にも乗っていただきましたし、今日まで議論を引っ張ってくださったことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今日のお話を聞いて、最後の言葉に、いろんなものが集約されていたと思います。我々も、単なる改修で終わらせてはいけないと本当にそう思います。単に使いやすくなったで終わら

せないためには、どうするのか。そういう意味では、我々も捉え方や考え方を少し変えなければいけないところもあるとお聞きしたところです。

こういった形で、それを具現化するのは、本当に挑戦だなと改めて思っています。

その挑戦の道のりを歩いていくために、今日お集まりいただいている皆さんをはじめ、市民の皆さん等の力を借りるといふか、行政と市民の関係性、この飯田市が築いてきた市民の皆さんと行政とが力を合わせて文化をつくっていく関係性の中から、新しい「飯田ひろば」といふ、挑戦のステージを進めていければと改めて思いました。

冒頭申し上げましたように、本日でこの検討委員会の区切りはつきますが、委員の皆さま、関係者の皆さまには、一緒につくっていただければと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

ありがとうございました。

○委員長 ありがとうございました。

---

## 5 その他

○委員長 それでは、最後その他について、事務局からお願いします。

○室長筒井 様々なご意見、ありがとうございました。

冒頭、資料の確認で、アンケート用紙をお配りしております。部屋の名称も含めて、本日も感想、言い足りないことがあると思いますので、アンケート用紙にご記入いただいて、事務局へご提出いただければと思います。

なお、先ほど文化会館の新しい取組ということで、ピアノを使っていただく企画も、ご案内できればよかったのですが、大盛況の申込み状況でして、今後もそういった新しい取組に挑戦してまいりたいと思います。先ほどもありましたとおり、今使っている皆さんやそれぞれの団体の皆さんの活動に関しても、寄り添った形で、一緒に取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

事務局からは、以上です。

○委員長 ありがとうございました。

今日また、皆さんからお出しいただいたご意見等が記録になって出てくるかな。楽しみにしたいと思います。

本当、本来ならここでまた議論が生まれてくるという姿があるのではと思いますが、今日は、ここまでにさせていただきたいと思います。

本日も予定しておりました内容は以上です。

会議の進行にご協力いただきありがとうございました。

---

## 6 閉 会

○委員長 皆さんには、14回、長きにわたって熱心なご議論、ご意見をいただき、本当にありがとうございました。

「飯田ひろば」、キーワードでまた復活してきましたが、まち中に広がっていく、我々もまた「飯田ひろばか、これは」という視点で見ていきたいと思えます。

まち中に「飯田ひろば」が広がっていくことを期待して、整備検討委員会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

---

閉 会 午後 8時31分